

令和4年度第1回みきっ子未来応援協議会  
就学前教育・保育部会の取組

日時 令和4年12月22日（木）午後7時～8時30分

出席者 部会委員7名 事務局7名

議題 （報告事項）

1. 幼保一体化計画の見直し後の実績について
2. 幼稚園預かり保育の実績報告について

主な意見

1. 幼保一体化計画の見直し後の実績について

- ・志染保育所の3号認定児定員増は、検討しているのか、もう進めているのか。  
⇒（事務局）計画策定の中で決まっており、実施の方向で今準備を進めている。
- ・第2園区や神和認定こども園、エンゼル認定こども園の辺りは、新しい家が建ち、祖父母が近くにいない、土地に縁のない状態で三木に来る方もいる。頼るところがなく家庭だけでは保育が難しい時に、育児を一緒にするパートナーとしてこども園等が存在しないと、人口面でも子どもは増えていかない。こども園としてはできる限り、定員増や受け入れのキャパシティが必要などころは見ていきたい。
- ・三木市は入所しやすいという声を聞いたことがあるが、支援策とキャパシティのバランスの、落としどころの判断基準として、他市の状況の資料があってもいい。

2. 幼稚園預かり保育の実績報告について

- ・それぞれの事情に合わせたしくみで、保護者が安心している。中でも、預かり保育の中で保護者のケアが可能になったことで、保護者の負担が軽減され、子育てが楽しくなった、ありがたいという声を聞く。また、保護者同士の中で、病気等でどうしてもという時は預かり保育に預けて、それ以外の時はお母さん同士の関係で預け合っという住み分けができたように思う。  
⇒（部会長）利用件数が挙がっているが、潜在的なニーズはまだあるのか等、見通しは色々あるように思う。
- ・今、職員が1人就いている。今後も確実に配置していただきたい。  
⇒（部会長）預かっている園では、突然来ると大変ではないか。

- ⇒ (委員) 研修会に先生が参加できないといったことはあるが、職員を交代して参加するように工夫している。
- 預かり保育について、意外と皆知らない。行政からのアナウンスはあるか。

⇒ (事務局) 市の子育てパンフレットには載っている。ただ、在園児優先というところはある。必要な時に使ってもらえるのはありがたいが、いつでも使えるとは言いにくい部分もある。窓口では、どちらかといえば児童館の一時預かりを案内している。園はある程度知っている仲間でできあがっているため、母の居場所がほしい方は、児童館の方が行きやすいという場合もある。

⇒ (委員) 0, 1, 2歳は定員いっぱいに入っている。そこに初めての子が来ると、先生が1人要る。本当にこの日は大丈夫という日しか受けられない。助けてあげたい、一緒に育ててあげたいと思っているが、なかなかそうはいかず苦しい。

⇒ (委員) NPOで子育て支援をしているが、うまく連携できればと思う。子を預けることが罪と思っている方もたくさんいる。力になればと思う。
  - 緑が丘東幼稚園や広野幼稚園で、預かり保育の利用がある中で、閉園時期が延びることはあるか。

⇒ (事務局) 預かり保育で延びるとは考えていない。